

実績

平成30年度 小学生5回、高校生1回
 平成31年度 小学生21回、高校生1回
 令和2年度 小学生18回、中学生9回、
 高校生8回
 ※学校に向くだけでなく、病院やデイサー
 ビス体験を実施しているので対象と実施回
 数を記載していません。



平成31年度の様子



令和2年度の様子

講師からのメッセージ

清水祐一さん
 訪問看護ステーションよいと(看護師)
 私どもは桜ヶ丘小学校へ参加をさせていただきました。生徒さんたちの「知りたい」と輝きに満ちた目はとても印象深いものでした。訪問看護については、その規模と数から、病院に比べるとまだまだマイナーな世界と言わざるを得ません。しかし、社会情勢を鑑みると、療養が必要な方々は、これまでよりもさらに「病院を出て自宅で過ごす」時間が増えてきます。そういった方々の力になる人材として、出前スクールをきっかけに、将来、在宅ケアを目指す生徒さんが増えることを期待しています。



鈴木啓太さん
 ビーオーリンクス(義肢装具士)

私は、地域の義肢装具士として子供たちに「義肢や装具はどのようなモノか」について講話しました。大人でも触れることが少ない義足や義手・装具を手に取り動かす子供たちは、好奇心の塊でキラキラ輝いていました。他にも模擬義足を装着して歩いてみたり、友達の前で足型を採ったり「要望に合わせて行います。授業を通して、義肢装具を学ぶだけでなく、相手のことを考え自分に何ができるかを考える子供たちを見て将来が明るく見えました。」

生徒たちの声

子供たちから感謝のお手紙が届くことも多く、「〇冥利に尽きる」と感動した講師も多かったことと思います。「薬を使った実験をして、薬を飲むときに注意することがわかりました」「訪問看護師という仕事を初めて知りました」「初めて車いすに乗って、次にどう動かかわからないと不安な気持ちになりました。声をかけしながら動かすことで乗っている人を不安にさせないことが大切だと学びました」「地域の中で様々な職業の人が連携して働いていることがわかりました」等々が書かれてきます。子供ながらの斬新な視点や言葉に驚かされることもありま
 す。開催校からは「キャリア教育としての効



**新潟市事業担当者より
 伝えたいこと**

医療と介護の出前スクールでは、医療と介護の様々な専門職が講師となり、病気の方や障がいをお持ちの方へのような支援やかかわりをしていくかをお話していただいています。私も保健師ですが、医療・介護職は感謝されることが多く、人のためになっていると実感できます。とてもやりがいのある仕事だと感じています。また、色々なことを経験してこれらの方にかかわらせて頂くので、人生の大先輩として学ぶことも多いです。
 出前スクールを通して、医療や介護について興味をもったり、身近で困っている人がいたら自分にできることを考え、手を差し伸べたりできるように変わってもらえたらうれしいです。